

項目		委員意見（要旨）	対応（案）
1	がん医療 事務局評定:A(法人A)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん手術件数の目標については、過年度実績に基づく目標設定だけではなく、手術室の稼働効率化の観点も踏まえた目標設定を検討されたい。 ・このほか、新入院患者数等の指標を目標値として設定することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘を踏まえ、次年度の評価に向けて機構と検討する。
6	周産期医療 事務局評定:A(法人A)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ陽性妊婦の受入れについて、他の民間病院が相当苦勞していた中、都立病院が率先して受け入れたことを高く評価しており、評定Sとすることも検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ陽性妊婦の受入れは、都としても「項目8 感染症医療」及び「項目13 災害や公衆衛生上の緊急事態への対応」で高く評価している。 ・周産期医療の評価に当たっては、母体搬送受入件数の状況などコロナ陽性妊婦受入れ以外の取組も踏まえて評定Aが適切であると考えている。
9	難病医療 事務局評定:A(法人A)	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん手術件数の達成度とセンター開設をもって評定Aとしているように見えるが、センターの機能や貢献内容など、評定Aの理由が明確に伝わるように評価の説明をより具体的にすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神経病院のてんかんの治療件数は全国でも上位にあり、神経病院を中心に難病治療に取り組んでいることから、以下のとおり修正（加筆）する。 【修正（加筆）案】 ➡都の神経難病の拠点である神経病院において、3つのセンターを運営したほか、質の高い難病医療の提供や院内連携の向上、地域医療への貢献に取り組んだことは高く評価できる。 ⇒ ➡各都立病院で症状に応じた質の高い難病医療を提供したほか、都の神経難病の拠点である神経病院において、疾患領域別に3つのセンターを運営し多職種チームによる入院患者へのサポートやてんかん手術等に積極的に取り組むなど、質の高い難病医療を提供した。加えて、新たに訪問看護ステーションへの看護師派遣を行うなど、専門人材による難病患者の在宅療養に関するケア技術向上支援等により地域の難病医療へ貢献したことは高く評価できる。
11	総合診療の提供 事務局評定:B(法人A)	<ul style="list-style-type: none"> ・方針を策定するなど取組を開始したことについては評価する。総合診療は今後推進が求められており、今後の取組や実績に期待する。 ・地域医療機関や大学医学部との連携も行いながら、総合診療医の確保・育成に向けて引き続き取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
15	健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発 事務局評定:B(法人B)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発について、コロナ対応を優先して行う中、本項目の取組に注力できない状況であったと思料する。今後、都立病院が率先して啓蒙活動や講座の実施や、ホームページにおけるコンテンツの充実に取り組み、都民の健康増進や疾病予防に寄与してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
16	患者中心の医療の推進 事務局評定:B(法人B)	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス・ケア・プランニングは、患者を主体に、その家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者の意思決定を支援する重要な取組であるので、都立病院が地域における取組の中心となりながら、積極的に推進してほしい。 ・患者満足度は非常に重要であり、調査を行うだけでなく、その結果の分析や共通指標を用いた病院別の比較を行い、調査結果に基づいて各病院の医療提供の充実に反映されたい。 ・次年度の報告においては、上記を踏まえた具体的な報告をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
		<ul style="list-style-type: none"> ・都の評価案において、患者満足度の向上を求めていることから、患者満足度に関する評価内容を加筆すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、以下のとおり加筆する。 【加筆案】 ○ 患者満足度調査について、全病院共通の項目を設定し調査を行い、目標達成については入院調査では14施設中3施設だが、外来調査では14施設中9施設で達成した。
17	質の高い医療の提供 事務局評定:A(法人B)	<ul style="list-style-type: none"> ・荏原病院が新たに医療の質可視化プロジェクトに参加するなど、新たな取組を積極的に行ったことについて、今後のさらなる取組の展開に期待できるため評価したい。評定Aとした都の評価案を支持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都としては、医療の質の可視化に向けた取組や、地域における院内感染対策の取組への貢献について高く評価しており、評定Aが適切であると考えている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域への感染対策に関する指導などの取組は積極的に行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
18	診療データの活用及び臨床研究・治験の推進 事務局評定:B(法人B)	<ul style="list-style-type: none"> ・論文執筆数等、数値実績を示していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘を踏まえ、次年度の評価に向けて機構と検討する。

項目	委員意見（要旨）	対応（案）
19 業務運営の改善及び効率化 事務局 評定:A(法人S)	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の働き方改革について、タスクシフト・タスクシェアの推進や効率的な業務体制の構築、救急部門における人材確保など、今後の取組に期待する。 ・また都立病院として、効果的な取組について都における他の病院のモデルとして示していくことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒看護師離職率はコロナ禍による影響が少なからずあったと思料される。なお、「全国的に新卒看護師の離職率が増加」とあるが、補足を願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映するとともに、意見を踏まえ、以下のとおり修正（加筆）する。 【修正（加筆）案】 ・新卒看護師の離職率について、全国的に新卒看護師の離職率が増加しており、新型コロナウイルスの影響が一定程度あったと考えられる。 <p>⇒日本看護協会の調査によると、全国的に新卒看護師の離職率が増加しており、「新型コロナウイルスの影響が一定程度あったと考えられる」としている。都立病院では、新型コロナ対応に特に注力したことから、新卒看護師離職率にもその影響が出ているものと考えられる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・病院間での人事交流を一層進めるほか、リモート会議等も活用し、法人本部や各病院の間で頻りに意見交換を行う場を設けるなどスケールメリットを生かした取組の推進に期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのプロジェクトなど、取組の成果は今後表れるものであり、今年度においては評定Bとすることも検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都としては、地方独立行政法人制度のメリットである人事や予算の弾力的な運用等による効率的・効果的な体制を構築したことや、令和5年度も見据えながら、法人運営の基盤構築に向けて新たに4つのプロジェクトを推進したことを高く評価しており、評定Aが適切であると考ええる。
20 財務内容の改善 事務局 評定:A(法人A)	<ul style="list-style-type: none"> ・収支目標について法人全体の目標となっているが、病院の運営状況の可視化のため、病院ごとに、その特色を踏まえた目標値を設定し、それに対する実績により全体として評価を行うべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率が低く、評定Bが妥当である。 ・安定的な経営基盤を維持していくため、医業収支の改善に向けて病床利用率の向上に努めるべきである。 ・共同購入などは、地独としてのスケールメリットを活かせる取組であり、ぜひ進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応の影響により病床利用率の実績が目標値に達していないが、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に伴う収入計上や令和4年度診療報酬改定への対応等により、経常収支比率が104.1%であった。加えて、キャッシュレス化の推進による未収金の発生防止等の収入の確保や、スケールメリットを生かした共同購入の取組や独法化のメリットを生かした多様な契約手法の活用による費用の節減に向けた取組を推進したとを評価するものであり、都としては評定Aが適切であると考ええる。 ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政的医療の安定的な提供のため、運営費負担金により都民の大切な税金を充てていることも踏まえながら、都民や地域から求められる医療について着実に提供できるよう、計画立てて適切な支出を行っていくことや未収金発生防止に向けた取組を推進していくことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
21 その他業務運営 事務局 評定:B(法人B)	<ul style="list-style-type: none"> ・公的機関や病院を狙ったサイバー攻撃が多発する中、職員への研修やセキュリティの強化といった予防も勿論のこと、万が一攻撃を受け感染した場合の影響を踏まえ、復旧・バックアップ体制を強化していくことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ研修については、受講率を向上させ100%となるよう取り組まれない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・独法化のメリットを生かし、契約締結権限の院長等への付与や随意契約の範囲の見直し等により業務効率化に取り組んでいることは評価できる一方、法人として汚職や談合を防ぐチェック機能を確実に運用していく必要がある。 	
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・独法化前から続いた三年間のコロナ対応について、職員が全力を尽くし続けたことに感謝したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を意見書に反映
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の設定にあたっては、依頼に基づいて対応するものや、外部要因による影響が大きいものについては、単に件数だけではなく依頼に対してどれだけ応えたかを示すなど、目標の立て方を工夫されたい。また、より客観的な評価を行うことができるよう、指標を追加していくことも検討してほしい。 ・実績報告にあたっては、新たに構築した体制や新規の取組などについて、その成果が伝わるように実績の報告をお願いしたい。また、都民への積極的な情報発信を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘を踏まえ、次年度の評価に向けて機構と検討する。 ・都としても、評価の理由が客観的により明確になるよう、実績の根拠等の確認や具体的な説明に努めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営費負担金の措置額とその意義、病院経営上の民間病院との相違点等について記載し、委員や都民に分かりやすくしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の趣旨を踏まえ、都や機構から報告、説明していく。